

公益社団法人おかやまの森整備公社の経営健全化に向けた方針について

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和元年12月23日

作成担当部署 農林水産部林政課

2 第三セクター等の概要

法人名：公益社団法人おかやまの森整備公社

代表者名：理事長 菊池 善信

所在地：津山市二宮1878-1

設立年月日：昭和40年4月1日（平成17年4月1日名称変更）

資本金：880,000千円【岡山県の出資額（出資割合）195,000千円（22%）】

業務内容：森林の整備に関する事業

森林整備の受託に関する事業

森林、林業の普及啓発に関する事業

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの岡山県の関与

- 岡山県行財政改革大綱における見直し方針を踏まえ、平成10年外部有識者からなる「（社）岡山県林業公社検討委員会」を設置し、経営改善策を取りまとめ報告。国の林業公社検討委員会報告に沿って経営改善に着手。
- 平成16年度に、公社の経営改革を進める中で、債務の累増や支払利息による県負担を最小化させる観点から、県からの短期貸付金と償還補助金による支援手法を導入。
- 平成27年度末に県短期貸付の見直しを行い、短期貸付金575億1,900万円のうち155億円を長期貸付に変更するとともに、短期貸付残額を毎年度計画的に長期貸付に転換。
- 公社は、間伐、択伐、皆伐等により得た販売金額及び、造林補助金、運営補助金、償還補助金から、公社森林整備事業費、運営費等を差し引き、短期借入金等の償還を行う。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

- 材木価格の長期下落により、将来の収支悪化が予想されたことから、公社は平成16年度に、従来のスギ・ヒノキ人工林による木材生産を中心とした経営方針から、森林の有する公益性をより発揮できる、環境保全を優先した森づくりに経営方針を見直した。

おかやまの森整備公社長期経営計画（長期収支計画及び事業5か年計画）

<http://okayamanomoriseibikousha.or.jp/>

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

（1）経費の削減及び収入の確保

- 列状間伐、高性能林業機械の使用等により生産経費の削減を図り、利益の増大に努める。
- 土地所有者（特に社員）に対し、分収率の変更（市町村有林について、公社の分収率を5割⇒8割）や契約期間の延長（60年⇒80年）を行った。

（2）組織・執行体制の見直し

- 県派遣職員の削減
- プロパー職員の早期退職勧奨
- 給与体系の見直しやOB職員の活用などによる人件費の削減
- 支所の縮小や事務所の移転、事務の効率化などによる一般管理費の削減

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		H28	H29	H30
	資産合計	66,801,585	66,341,593	65,638,204
	（うち現金預金）	85,962	167,417	226,703
	負債合計	56,212,041	54,951,296	53,335,286
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	55,799,000	54,397,000	52,970,000
	正味財産合計	10,589,544	11,390,297	12,302,918

正味財産増減計算書から	項目	金額(千円)		
		H28	H29	H30
	経常収益	1,985,275	1,998,020	2,058,309
	経常費用	885,816	893,186	914,620
	経常増減額	1,099,459	1,104,834	1,143,690
	経常外増減額	△ 584,384	△ 786,053	△ 675,470
	一般正味財産増減額	515,075	318,781	468,220